

どう守る？
どう防ぐ？
**幼児の
交通事故**

車内の子どもを守る必須アイテム!!

チャイルドシート

『習慣づけが大切です』



大型貨物車が、前車に追突後、中央線をはみ出し、対向してきた乗用車と正面衝突。乗用車は大破し、命に関わる重大事故と思われたが運転席の母親はシートベルトを着用、後部座席の幼児(1歳)はチャイルドシートを使用していたため、「かすり傷」程度で済んだ。



大破した事故車両写真

チャイルドシートの使用の義務【道路交通法第71条の3第3項】

運転者は、チャイルドシートを使用しない幼児を乗車させて、自動車を運転してはならない。
※ただし、負傷や傷病などの除外規定があります。

● 正しく確実に！

取扱説明書に従って正しく取り付けましょう。



両側に
2箇所
あります！



緩みがないか
チェック！

● 取り付けミスを防ぐ「ISOFIX」

シートベルトを使用せず、専用の金具で座席に固定するチャイルドシートです。

こどもの体格に合ったチャイルドシートを使用しましょう！

体の小さなこどもが大人用のシートベルトを着用すると、ベルトから体がすり抜け、車内で衝突したり、ベルトが首に引っ掛かったり、重大な致命傷となる可能性も…。6歳を過ぎて、体格に応じてジュニアシートを使用しましょう！



京都府警察

どう守る？
どう防ぐ？
**幼児の
交通事故**

子どもに「交通安全」 を伝えましょう！

『子どもの特性を理解し、
繰り返し声をかけましょう』



ひとつのことに夢中になると周りに目が向かない

抽象的な言葉は理解できない

そのときどきの気分によって行動が変わる

物陰で遊ぶのが好き

見える範囲が大人と異なる

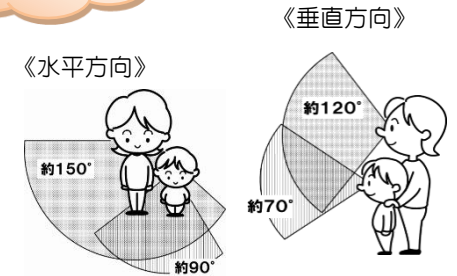
大人のまねをしたり大人に依存する

車は止まってくれると思っている

こんなに違う!? 子どもの視野

大人と比べると幼児の視野は狭く、身長も低いので、「右、左を見て」と声をかけても大人には発見できる危険が子どもには見えていないことがあります。

頭を動かして周りを見るように声かけしましょう！



教えましょう！ 合図横断

信号機のない横断歩道では、手のひらと顔をドライバーに向けて渡り意図を伝える「合図横断」を習慣づけましょう。



大人がお手本です！

子どもはすぐに大人のまねをします。身近にいる大人が安全な正しいお手本を示すことが大切です。



京都府警察